

二〇一五年度 鷗友学園女子中学校入学試験 国語3次 解答例と配点

㊦ (小計 54点)

問一 (8点) 論里にないしよで母さんに会いに行つたことを白状したので、気まづい思っている。

問二 (12点) ふだん明るい母親の様子からは全く想像できない病気という話題を父から聞かされたため、現実の話とはすぐに受け入れられず、激しく動揺する気持ち。

問三 (18点) 大人には隠し事をしながらも、自分は父母のことをわかっているつもりだったが、父から本当の気持ちを話してもらつたことで、大人には大人の世界があることを知り、しようげきを受けたが、そのことを見せまいとしていく。

問四 (16点) 子どもっぽい母のことを恥ずかしく思っていたが、母のおかげでこの世に生まれ、今生きている世界をすばらしいと思えることに感謝し、それを伝えたいという気持ち。

㊧ (小計 36点)

問一 (10点) 地域社会は単独でエネルギーをまかなうことができないので、社会が成立するために、周辺の村からの人や物資の出入りが必要な地域もあつたということ。

問二 (14点) 江戸時代の日本の村では、新しい技術を学ぶために、村の費用を使い、五、六人で出かけて行く風習もあり、その時道中でめずらしいものや技法があれば、積極的に学んでくる風習もあつたから。

問三 (12点) 当該自治体のコミュニティ課に行き、地元の作法をよく知っている人を紹介してもらい、その人に作業の進め方を相談しながら、住民に何度も説明をし、ともに理想の公園をつくっていくのがよい。

㊨ (小計 10点)

- (2点×5) (1)針路 (2)報復 (3)仮設 (4)基幹 (5)起承

問題本文は、著作権の関係で本日は配布しません。
なお、出典は次の通りです。

- ㊦ 市川朔久子『紙コップのオリオン』
㊧ 鳥越皓之『地域の力で自然エネルギー!』